

市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

| | |
|-------------------------|---|
| 研究課題名 | 非飲酒かつ非喫煙者に生じた表在型食道癌の臨床病理学的特徴の検討 |
| 当院の研究責任者 | 所 属：消化器肝臓病センター 消化器内科 責任者：北村陽子 |
| 他の研究機関および各施設の研究責任者 | |
| 本研究の目的 | 背景 食道扁平上皮癌(Esophageal Squamous Cell Carcinoma:ESCC)は、飲酒・喫煙が主要な危険因子で男性に多く生じる特徴がある。そのためESCC の拾い上げにはリスクの層別化を行い、危険群を意識した観察を行うことが必要である。しかし、少なからず飲酒・喫煙の危険因子を認めない症例にもESCCが生じることがあるが、詳細な検討がされた報告は少ない。 目的 ESCC 高危険群以外で生じる ESCC の効果的な内視鏡検査の一助とするため、非飲酒かつ非喫煙者に生じた ESCC の背景や特徴を明らかにすること。 |
| 調査データの該当期間 | 2012年4月から2022年12月 |
| 本研究の対象及び方法 (使用する試料等) | 食道の内視鏡治療をされた方の、内視鏡画像・病理組織画像や臨床データを後方視的に検討する。 |
| 試料・情報の 他の機関への提供 | なし |
| 個人情報の取り扱い | 匿名化し個人を同定できないように行う。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。 |

| | |
|---------|---|
| お問い合わせ先 | TEL : 0742-24-1251 担当者 : 消化器肝臓病センター・消化器内科 北村陽子 |
| 備考 | |